

こんどう

つねじ

# 近藤 恒治

明治43年（1910）～昭和53年（1978）

豊橋市中柴町出身



近藤恒次は、昭和46年（1971）に時習館高校を退職するまで教鞭をとり、一方で昭和10年（1935）ごろから船町の佐藤閑翠<sup>かんすい</sup>に師事、亡くなるまで郷土史研究を続けた。主著に『明治初期に於ける豊橋地方の初等教育』『時習館史』、共著に『豊橋市史』などがある。また、三河地方に関する文献を集積した『三河文献綜覧』等は、現在もこの地方の研究に欠かせない書物となっている。恒次が収集した膨大な文献や古文書は、豊橋市中央図書館及び豊橋市美術博物館に「橋良<sup>はしら</sup>文庫」として収められた。

三河郷土史研究の  
第一人者